



8/15 13:30~昆虫を探す会 の募集を
7/25~電話で受付開始します0166-36-1104まで

ASAHIYAMA ZOO

発行所

旭川市旭山動物園
動物図書館
☎ 36-1104

てながざる館 2年目のにぎやかな夏

子育て さまざま

シロテテナガザル

6月2日生まれ



テナガザルの赤ちゃんは1日のほとんどの時間を母シラコに抱かれています。生まれて1か月がすぎ、徐々に毛がフサフサして親と同じような色になってきています。

そこへ、兄コタローと父テルテルがやってきて…。赤ちゃんの手をひっぱってみたいとお母さんの子育てに興味があるようです。

野生でも核家族で生活しているシロテテナガザルの一面がみられます。



サルのなかまは、木の上にいることが多く、外敵におそわれるキケンが少ない。だからお母さんの腕の中でゆっくり育つんだ

てながざる館ができて2回目の夏。6月上旬にはシロテテナガザルが生まれ、中には同居しているキヨンの赤ちゃんが生まれ、さらににぎやかになっていきます。日に成長を見せる赤ちゃんたちは、動きの種類も増えてきて目がはなせません。

ここではテナガザルとキヨンは同じ空間でくらしましたが、それぞれが、安心して子育てできるように、いったん分けて飼育することになりました。

動物たちの子育ての様子は実にさまざま。それぞれの赤ちゃんの違いをくらべてみると野生でのくらし方が見えてきますよ。

キヨン

6月14日生まれ



キヨンは屋内で見られます

キヨンの赤ちゃんは、たいてい親からはなれたところで、じっとしています。お母さんがお世話をしにきてくれるのを待っているのです。背中には天敵に見つからない

エゾシカの森でも

とっても元気な赤ちゃんです。動きがよく、早いうちから親たちと一緒に収容しています



エゾシカ
6月25日生まれ

こちらエゾシカの森でもオスの赤ちゃんがうまれていきます。名前は「そろそろ」にきまりました。

外敵から身を守るすべは、走って逃げる。だから、お母さんのおなかの中で歩けるようにそだってからうまれてくるんだね

生まれたすぐの赤ちゃんの毛色は、今とほとんどかわりありません。そのころは両手にのるほど小さかったのが、今では2まわりほど大きくなっています。

いようにするための役割をする斑点もようがあります。まるで木漏れ日のようですね。

生まれて1ヶ月たとうとす、今、赤ちゃんがいろいろな動きをするようになってきました。周りに興味を持ち始め、ガラス越しの間近なところまでやってくるようになっていきます。

さる山でも

ニホンザル
4頭生まれました

最近、少しずつお母さんのおなかからはなれてきている子もいます。

年上のこどもたちも赤ちゃんに興味を持ちはじめ、だっこを試みたり…。



6/2生まれ

5/7生まれ

子育て 真っ盛り

ペンギん館でも

ヒナたちはこんなに大きくなりました。No.27
キングペンギン
5月31日生まれ



ジェンツーペンギン抱卵中
8月上旬 孵化予定

イワトビペンギンの
巣立ちまであと
1ヶ月半くらい



イワトビペンギン No.13
6月5日生まれ

ペンギん館のペンギんたちには1羽1羽に番号がついています。

今年生まれのヒナはキングペンギンが27、イワトビペンギンが13です。小さい頃からの成長をおって観察してみてくださいね

オスの赤ちゃんとメスの赤ちゃんを比べるとお母さんに抱かれていた時間が違うようです。観察しながら比べてみましょう